

国際的視野から見た 日本の育児支援制度

人間科学基礎ゼミナール I

授業紹介

2016年9月26日(月)

授業の概要

- 人口減少と高齢化に伴い、日本は深刻な労働力不足に陥ることが予測されている。不足する労働力を補うために、外国人労働者の導入や女性が仕事と子育てを両立できる環境を整える必要性が考えられている。この授業では日本と諸外国の育児支援環境、労働条件と男女の役割分担を考察し、国際的に見た日本の現状と特徴に関する理解を深める。

授業の到達目標

- ディスカッション・プレゼンテーション・発表を基にしてコミュニケーション能力を高めることが出来る。
- レジメとレポートを書くことを基にして国語力を高めることが出来る
- 海外と日本の育児支援環境を理解し説明することが出来る。その知識を生かして、政治家と行政官僚が提案する育児政策が評価できる。
- 保護者としての自分の将来をより計画的に考えることが出来る。日本のマスコミが海外の事情を報道する際、その報道疑い深く見て美化と現実を識別が出来る

授業形態

- テーマ関連のビデオを見、
- 入門資料を読み、
- 少人数討論で問題意識を高めてから、
- 研究テーマを選び、
- グループで調べて報告する。

テキスト

- 特になし。
- テキストの代わりに
 - ビデオ
 - 配布物
 - 新聞切り抜き
- 配布物
 - 授業で配る
 - ネット配信（配信物）

参考文献

- 担当教員が逐次指示する。
 - ネット公開
 - www2.gol.com/users/ehk/taishod/ikuji 常時
 - ehk.servebeer.com/taishod/ikuji 0130-0420 停止
 - 参考の為に前回のものを載せている
 - 逐次に書き換える

評価方法

- 通常点 (20%), 研究報告とレポート (40%), 学期末試験 (40%) に基づき評価する。
 -
- 研究報告指示 (後ほど配布)
- 試験
 - 多項選択式
 - ビデオ
 - 解釈 (講義)
 - 配布物 (参考資料)

出席

- 通常点 (20 %)
 - 出席率
 - 討論参加
- 欠席免除
 - 病気
 - 就職活動
 - 教育実習
 - スポーツの試合
 - など

授業計画

- 三等分・三段階授業
 - 入門
 - 研究（調査）
 - 報告・評価
- 授業の進歩具合によって調整する

授業計画（入門）

- 日本の人口動向
- 日本の育児支援環境 - 保育所・幼稚園
- 近年の育児支援政策変化
- ワーク・ライフ・バランスと育児支援
- 諸外国の育児支援環境と人口政策
- 男性と育児 - 海外のイクメン・日本のイクメン

授業計画（研究）

- 研究グループ・研究テーマの決定
- テーマ研究（3週間）
グループ（5・6人）が関連テーマを調べる
ネットと大学図書館資料は別として教員が提供する
 - 新聞切り抜き
 - 書籍
 - ビデオ（録画）

授業計画（報告・評価）

- 学生による研究報告（2・3週間）
 - 指示は入門終了に配布する
- 「試験の答合わせ」 = = 試験
 - 最終授業日
 - 多項選択
 - 講義・ビデオ・資料を基に

スライド終了

スライド・参考資料

<http://www2.gol.com.users/ehk/taishod/ikuji> 常時

<http://ehk.servebeer.com/taishod/ikuji> 0130 – 0420 停止

メールアドレス

ehk@gol.com ehkuso@gmail.com

メールに名前・学籍番号・授業名を必ず書き込む。

オフィスアワー(定期相談時間)

水曜日2時限 256-C 研究室

事前の連絡は必要ない

他の時間帯も可能